

大地震・大津波を想定した訓練 新冠町防災避難訓練を実施



10月2日、市街地・節婦・大狩部地区を対象とした防災避難訓練が行われました。今年で21回目を迎える防災避難訓練は、午前8時に大地震が起り、後に、大津波が発生することを想定し行われ、避難訓練に参加した住民は、避難所までの経路を確認するとともに、自治会役員も、非常時の初動体制について確認をしていました。

字東泊津 石田正胤さん

北海道社会貢献賞受賞



10月6日、字東泊津の石田正胤さんが、社会貢献賞を受賞し、小竹町長より賞状が伝達されました。

石田さんは、平成8年から20年にわたり新冠町民生委員会副会長として地域社会福祉児童委員として、また、25年からは民生委員児童委員協議会副会長として地域社会福祉の増進に尽力されたことが評価され、この度の受賞となりました。

新冠乗馬スポーツ少年団

楫川さんと山畠さんがいわて国体で活躍



10月11日、岩手県で開かれたいわて国体の馬術競技に出場した、静内高校3年楫川徳都さんと静内農業高校2年山畠龍一郎さんが小竹町長を訪れ、結果を報告しました。

北海道代表選手として出場した2人は、少年標準障害飛越競技や少年トップスコア競技などに出席し、山畠さんが少年ダービー競技決勝で、見事3位入賞を果たしました。

親子で参加のミニミニ運動会 認定こども園ド・レ・ミで初開催



10月15日、スポーツセンターで、認定こども園の0歳から2歳までの園児が出場する運動会が開かれました。これまで、6月に全園児が出場して運動会を開いていましたが、園児数の増加などから、今年は低年齢の園児だけで運動会を開きました。出場した園児たちは、大泣きしながらも、ゴールを目指し懸命に走っていました。



10月15日、スポーツセンタード・レ・ミで初開催されました。また、式典では、半世紀の歴史を作り上げてきた歴代青年部長が紹介され、代表して初代会長である林武さんに感謝状が贈呈されました。式典終了後は懇親会が開かれ、これまでの青年部の活動写真の上映などが行われました。

にいかつぶ観光協会軽トラ市 最終日も多くの人でにぎわう



10月29日、6月から毎週土曜日に開かれていた、軽トラ市が最終日を迎えました。今年の軽トラ市は、野菜の高値や鮮魚を扱う店舗の出店、農協ストアの閉店などが要因となり、昨年よりも多くの買い物客が来場しました。主催する観光協会と出店者は、来年以降も引き続き開催できるように準備を進めています。

文化の秋・芸術の秋 町民文化祭開催

新冠消防団秋季消防演習 小隊訓練と放水訓練を実施

新冠町文化協会が主催する第47回町民文化祭が、レ・コード館で開かれ、多くの来場者でにぎわいました。10月16日には、町内で活動するサークルなど15団体が出演して芸能発表会が開かれ、合唱や踊り、楽器の演奏など日頃の練習の成果を披露しました。

また、10月21日から23日に開かれた総合作品展では、22の団体と個人から781点の作品が展出され、町民ホールの会場いっぱいに作品が並べられました。



作品展には3日間で延べ708人が会場を訪れ、来場者は個性豊かな作品に見入っていました。



10月16日、日高中部消防組合新冠消防団の秋季消防演習が行われ、町内90名の団員が参加し訓練を行いました。消防団員は、それぞれが本業の仕事を持ちながらも、火災や災害が発生した時には消防活動を行う地域防災を担う住民で、この日も消防団員たちは、日頃の練習の成果を発揮して、きびきびとした消防訓練を披露していました。

新冠判官太鼓保存会 北海道文化団体協議会芸術賞



この度、新冠判官太鼓保存会が第23回北海道文化団体協議会芸術賞を受賞した。10月16日、新ひだか町公民館で開かれた北海道文化集会で表彰されました。

最高賞の芸術賞を受賞した判官太鼓保存会の橋本会長は「今回の栄誉を励みとし、今後も地域の文化・芸術活動発展のため精進します」と受賞者を代表し謝辞を述べました。

ジャック先生が英語のレッスン 日常の英会話を学ぼう！



10月20日、レ・コード館で教育委員会が主催する生涯学習講座「ジャックの英会話教室」が開かれ、参加者10名が本場の英会話を学びました。ジャックさんは、町の英語指導助手として昨年から小中学校で英語の指導をしていますが、大人を対象とした教室は初めてとのことで、少し緊張しながら、自己紹介や英単語のゲームをしていました。



10月29日、軽トラ市で開かれた観光協会軽トラ市は、来年以降も引き続き開催できるよう準備を進めています。